



糖尿病通信



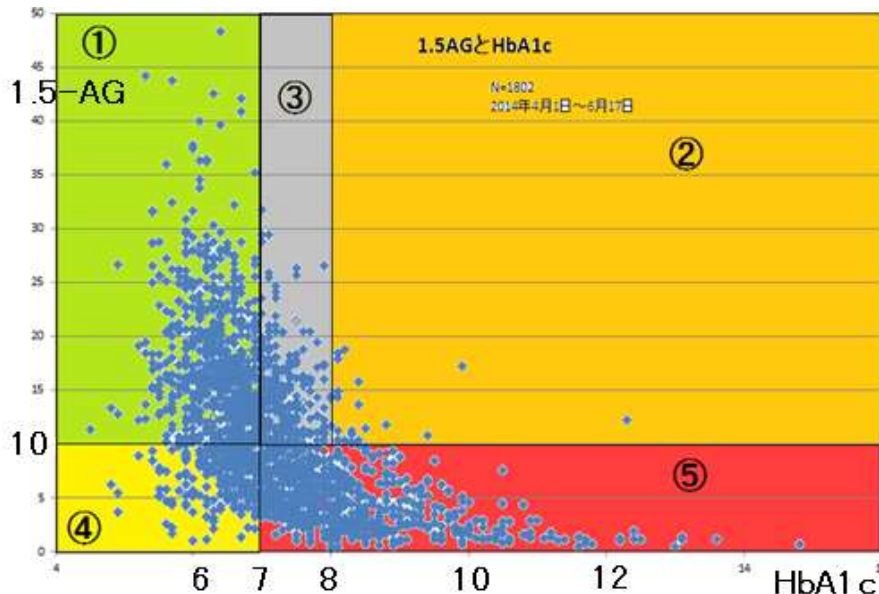
糖尿病と上手にお付き合いするために

柏戸病院の患者さんの現況

糖尿病で治療中の皆さんは、他の患者さんのコントロールはどうなだろうと気になったことはありませんか？柏戸病院の患者さんの現況をお知らせします。ご自分の検査結果がどの位置にあるのか、グラフのなかで比較してみてください。いかがでしょうか？糖尿病と上手にお付き合いできていると嬉しいですね。（糖尿病外来以外の患者さんも含まれています。）

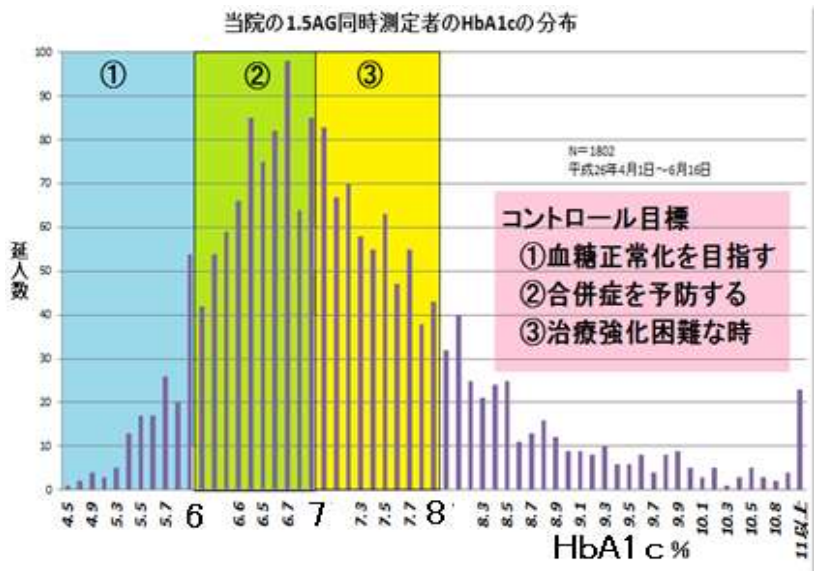
内科 柳澤 徳山

2. 1.5-AGとHbA1c (良質なコントロールをめざして)

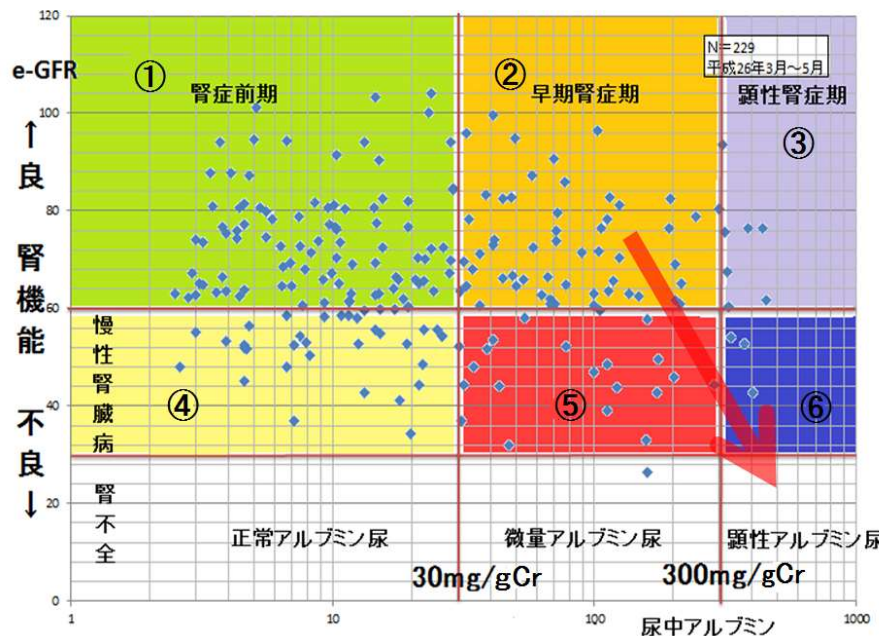


①の患者さんは上手にコントロールできています。
 ②の患者さんはインスリン抵抗性を改善し、平均して血糖を下げましょう。
 ③は合併症のある高齢の患者さんなら、この範囲でもOKです。
 ④の患者さんは食後高血糖を改善するよう、食事や薬を工夫してください。
 ⑤に含まれる方はこのままでは心配です。食事などの生活習慣や薬の見直しをしましょう。（柏戸病院糖尿病外来では1.5AGを測定しています）

1. 当院の患者さんのHbA1c



3. 合併症の指標:尿中アルブミンとeGFR(腎機能検査)



①問題ありません。
 ②⑤糖尿病性腎症が始まっています。このままでは急激な腎機能低下を招く恐れがあります(矢印)
 ③⑥尿たんぱくが増えており、ネフローゼになる可能性があります。
 ④動脈硬化症による腎機能低下が心配されます。血圧、脂質なども管理してください。